



大阪府 子どもの生活に関する実態調査 保護者向け調査 調査票

参考資料 2 - 1

＜ 調査への協力をお願い ＞

この調査は、保護者の方に家庭状況などをお聞きし、大阪府の子どものための支援策に役立てるために実施します。皆様からの回答を支援策の充実や改善につなげていきたいと考えていますので、お忙しい中お手数ですが、調査への協力をお願いします。

----- 回答にあたってのお願い -----

◆ 調査票をお送りする方の選び方

大阪府内の小学5年生と中学2年生から無作為抽出で8,000人を選びました。

◆ プライバシーへの配慮

お名前や住所を書く必要はありません。調査の集計は統計的に処理し、個人や学校を特定することはありません。また、目的以外に使うことはありません。

◆ 回答にあたってのお願い

- 答えたくない質問には、回答しなくて結構です。
この調査で「お子さん」とは、調査票を受け取ったお子さんのことです。「お子さん」と書かれた質問には、調査票を受け取ったお子さんについてのみお答えください。
ごきょうだいなどで、この調査用紙が複数届いた場合も、お手数ですが、それぞれのお子さんについて、それぞれの調査用紙に回答してください。
調査票に回答するときには、お子さんと保護者の回答が見えないよう別々の場所で記入してください。なお、お子さんの回答内容は見ないようにお願いします。

◆ 調査票の返信方法

調査に回答後、「保護者用」と書かれた封筒に入れ、のりづけやセロハンテープで封をしてください。お子さんの回答の入った「小学生・中学生用封筒」と「保護者用封筒」を返信用封筒にまとめて入れ、提出期限までに返信してください。切手は不要です。

提出期限 平成28年7月19日 (火曜日)

この調査の問合せ先

◆ 調査への回答にあたってご不明な点などございましたら、お問い合わせください。

大阪府福祉部子ども室子育て支援課 推進グループ

電話 06-6944-7108 (直通) ※9:30~18:00 月曜日~金曜日

ファクシミリ 06-6944-3052

住所 大阪府中央区大手前3丁目2-12大阪府庁別館7階

なお、この調査に関するご質問への回答はホームページでもご覧いただけます。

http://www.pref.osaka.lg.jp/kosodatেশien/kodomo/index.html

質問の回答方法について

◆それぞれの質問について次のように答えてください。

(例) あなたの好きな花はなんですか。

1. さくら	3. バラ
2. チューリップ	4. その他の花

※答えは、あてはまる番号に○をつけてください。

※○のつけかたは、質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○をつけてください」や「あてはまる番号すべてに○をつけてください」などと書いてありますので、それにしたがってください。

最初に、あなたとお子さんの関係についておたずねします。

問1 この調査に回答いただいている方におたずねします。お子さんとあなたの続柄について教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. お母さん	4. おじ、おばなど親戚
2. お父さん	5. 施設職員・ファミリーホーム・里親
3. おばあさん・おじいさん	6. その他の人

問2 あなたが日常生活でよく使う言葉はどれですか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 日本語	2. 日本語以外
--------	----------

世帯の状況についておたずねします。

※あなたの世帯について、平成28年4月1日現在の状況を教えてください。

※世帯とは、普段、住居と生計を共にしている方々(世帯員)の集まりをいいます。血縁関係のない人でも同居していれば世帯に含んでください。また、単身赴任の方も含まれます。

※世帯員には、旅行や出張などで一時的に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人を含みます。

※また、病院・診療所に入院している人を含みますが、住民登録を病院・診療所に移している人は除きます。さらに、学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人を除きます。

問3 あなたの世帯の状況についておたずねします。

(1) あなたの世帯(世帯員)についておたずねします。

<p>① 世帯員の人数は何人ですか。(あなたとこの調査票を受け取ったお子さんを含め、あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. 2人 2. 3人 3. 4人 4. 5人 5. 6人 6. 7人 7. 8人 8. 9人 9. 10人以上</p>		
<p>② 世帯員の人に介護または介助の必要な方がいますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください。)</p> <p>1. いる 2. いない</p>		
<p>③ 世帯員のうち、子どもの人数は何人ですか。世帯の子どもの人数をすべてお答えください。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人 7. 7人 8. 8人 9. 9人 10. 10人以上</p>		
<p>④ 世帯員の子どものうち、小学校入学前の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人 6. 5人以上</p>		
<p>⑤ 世帯員の子どものうち、小学校1年生から18歳未満の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上</p>		
<p>⑥ 世帯員の子どものうち、18歳以上の子どもの人数は何人ですか。(あてはまる人数の番号1つに○をつけてください)</p> <p>1. いない 2. 1人 3. 2人 4. 3人 5. 4人 6. 5人以上</p>		

(2) 世帯員をすべて選んでください。(お子さんから見た続柄で、あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. この調査票を受け取った お子さん本人	4. 兄・姉 おとうと いもうと	7. おじいさん
2. お母さん	6. おばあさん	8. おじ・おばなど親戚
3. お父さん		9. その他の人

問4 あなたの住居は、次のどれにあてはまりますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持ち家 (親・きょうだいの名義を含む)	4. 民間の賃貸住宅
2. 府営・市営の住宅	5. 官舎・社宅
3. UR賃貸住宅・公社賃貸住宅	6. その他

問5 あなた(世帯の方を含む)は自家用車を持っていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

問6 あなたの家計の収支状況についておたずねします。

(1) 前年(2015年)の1年間のあなたの家計の状況について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 貯蓄ができています	3. 赤字でもなく黒字でもない
2. 赤字である	4. わからない

(2) 問6(1)で「2. 赤字である」と答えた方におたずねします。赤字の場合ほどのようにしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 貯金、預金のとりくずし	3. 金融機関等からの借入
2. 親や親族などからの仕送り	4. その他

(3) お子さんの将来のために貯蓄をしていますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 貯蓄をしている	3. 貯蓄をするつもりはない
2. 貯蓄をしたいが、できていない	

問7 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。おおむね半年の間でお考えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

<p>1. 食費を切りつめた。</p> <p>2. 電気・ガス・水道などが止められた。</p> <p>3. 医療機関を受診できなかった。</p> <p>4. 国民健康保険料の支払いが滞ったことがある。</p> <p>5. 国民年金の支払いが滞ったことがある。</p> <p>6. 金融機関などに借金をしたことがある。</p> <p>7. クレジットカードの利用が停止になったことがある。</p> <p>8. 新しい衣服・靴を買うのを控えた。</p> <p>9. 新聞や雑誌を買うのを控えた。</p> <p>10. スマートフォンへの切替・利用を断念した。</p> <p>11. 冠婚葬祭のつきあいを控えた。</p> <p>12. 生活の見通しがたたなくて不安になったことがある。</p>	<p>13. 鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした。</p> <p>14. 電話(固定・携帯)などの通信料の支払いが滞ったことがある。</p> <p>15. 家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある。</p> <p>16. 趣味やレジャーの出費を減らした。</p> <p>17. 冷暖房の使用を控えた。</p> <p>18. 友人・知人との外食を控えた。</p> <p>19. 敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した。</p> <p>20. 理髪店・美容院に行く回数を減らした。</p> <p>21. 子ども部屋が欲しかったがつくれなかった。</p> <p>22. 1～21の項目には、どれにもあてはまらない。</p>
---	---

問8 お子さんのお母さんとお父さんの最後に通った学校を教えてください。(あてはまる番号1つに○をつけてください)(現在、ひとりで子どもを育てている場合(ひとり親の場合)はあてはまる方だけに○をつけてください。)

お母さん	お父さん
1. 中学校卒業	1. 中学校卒業
2. 高等学校中途退学	2. 高等学校中途退学
3. 高等学校卒業	3. 高等学校卒業
4. 高専、短大、専門学校等卒業	4. 高専、短大、専門学校等卒業
5. 大学卒業	5. 大学卒業
6. 大学院修了	6. 大学院修了
7. その他の教育機関卒業	7. その他の教育機関卒業
8. 答えたくない	8. 答えたくない

問9 お子さんの保護者の方の現在の就業状況についておたずねします。(複数)

か所にお勤めされている方はあてはまる番号をすべて選んでください

※お母さん、お父さん以外の方が主として家計を支えている場合、「お母さん、お父さん以外の方」にもご記入をお願いします。

※現在、育児休業などで休業中の方は、復職するときの仕事の番号を選んでください。

お母さん	1. いる	2. いない
------	-------	--------

「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め(常勤・正規職員) 2. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務) 3. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務) 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事をさがしていない ①家事や育児に専念 ②学生 ③おうちの人の介護や介助 ④病気療養 ⑤年金など ⑥家賃収入、株式運用など ⑦その他
---	---

お父さん	1. いる	2. いない
------	-------	--------

「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め(常勤・正規職員) 2. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務) 3. 勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務) 4. 自営業・家業 5. その他の就業形態 6. 仕事を探している	7. 仕事をさがしていない ①家事や育児に専念 ②学生 ③おうちの人の介護や介助 ④病気療養 ⑤年金など ⑥家賃収入、株式運用など ⑦その他
---	---

お母さん、お父さん以外に主として家計を支えている方
 (おばあさん、おじいさん、おじ、おば、親戚など)

1. いる

2. いない

「1. いる」に回答された方は、次のあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 勤め (常勤・正規職員)
2. 勤め (パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)
3. 勤め (パートまたはアルバイト、非正規職員で2か所以上に勤務)
4. 自営業・家業
5. その他の就業形態
6. 仕事を探している

7. 仕事をさがしていない
 - ①家事や育児に専念
 - ②学生
 - ③おうちの人介護や介助
 - ④病気療養
 - ⑤年金など
 - ⑥家賃収入、株式運用など
 - ⑦その他

問10 お子さんの保護者の方が家にいる時間帯で、多い時間帯を選んでください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

※保護者の方には、おばあさん、おじいさん、おじ、おばなど親戚などを含みます。

※自宅が仕事場の場合は、お仕事が終わる時間帯を選んでください。

1. お子さんの学校からの帰宅時間には家にいる
2. お子さんの夕食時には家にいる
3. お子さんの寝る時には家にいる

4. お子さんが寝た後に帰ってくる
5. 保護者の方の帰宅時間が決まっていない
6. その他

問11 学校が終わってから、主にお子さんとお過ごし時間が長いのはどなたですか。

(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- | | | |
|----------|--------------|---------------------|
| 1. お母さん | 5. 兄・姉 | 9. 学童保育の指導員 (※) |
| 2. お父さん | 6. 弟・妹 | 10. ファミリーサポートセンター会員 |
| 3. おばあさん | 7. おじ、おばなど親戚 | 11. お子さんがひとりである |
| 4. おじいさん | 8. 近所の人 | 12. その他の人 |

※「学童保育」とは、「放課後こどもクラブ」、「放課後児童室」、「放課後児童クラブ」も含みます。

お子さんのことについておたずねします。

問12 お子さんは、療育手帳や身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 持っている	2. 持っていない
----------	-----------

問13 あなたの世帯では、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(おおむね1年の間でお考えください。)(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

1. 子どもを医療機関に受診させることができなかった。	9. 子どもを学習塾に通わせることができなかった。
2. 子どもの進路を変更した。	10. 子どもの誕生日を祝えなかった。
3. 子どものための本や絵本が買えなかった。	11. 子どもにお年玉をあげることができなかった。
4. 子どもにおこづかいを渡すことができなかった。	12. 子どもの学校行事などに参加することができなかった。
5. 子どもに新しい服や靴を買うことができなかった。	13. 子ども会、地域の行事(祭りなど)の活動に参加することができなかった。
6. 子どもを学校の遠足や修学旅行へ参加させることができなかった。	14. 家族旅行(テーマパークなど日帰りのおでかけを含む)ができなかった。
7. 子どもを習い事に通わせることができなかった。	15. 1～14の項目には、どれにもあてはまらない。
8. 子どもを学校のクラブ活動に参加させられなかった。	

問14 あなたとお子さんとの関係について、次の項目でもっとも近いものを選んでください。

(1) あなたは、お子さんを信頼していますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. とても信頼している	3. あまり信頼していない
2. 信頼している	4. 信頼していない

(2) あなたは、お子さんとよく会話をしますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. よくする	3. あまりしない
2. する	4. しない

(3) あなたがお子さんと一緒に何かをしたり、相手をしたりしている時間は、1日あたり平均すると、だいたいどれくらいになりますか。(平日、休日それぞれについて、あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

平日	休日
1. 0～15分未満	1. 2時間未満
2. 15分～30分未満	2. 2時間～4時間未満
3. 30分～1時間未満	3. 4時間～6時間未満
4. 1時間～2時間未満	4. 6時間～8時間未満
5. 2時間～3時間未満	5. 8時間～10時間未満
6. 3時間～4時間未満	6. 10時間以上
7. 4時間以上	

(4) あなたは、お子さんの将来に期待していますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. とても期待している	3. あまり期待していない
2. 期待している	4. 期待していない

問15 あなたは、お子さんの進学について、どこまで希望されていますか。

(あてはまる番号 1 つに○をつけてください)

1. 中学校	5. 留学
2. 高校	6. 専門学校・高等専門学校
3. 大学・短期大学	7. 考えたことがない
4. 大学院	8. わからない

問16 あなたは、お子さんが問15の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。
 (あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. 思う	2. 思わない	3. わからない
-------	---------	----------

問17 問16で「思わない」と答えた方におたずねします。その理由について教えてください。
 (あてはまる番号すべてに○をつけてください。)

1. お子さんの希望と異なるから 2. お子さんの学力から考えて 3. 経済的な余裕がないから 4. その他 5. 特に理由はない

問18 お子さんの通学状況について、もっとも近いもの1つに○をつけてください。

1. ほぼ毎日通っている 2. 欠席は年間30日未満である 3. 欠席が年間30日以上、60日未満である 4. 欠席が年間60日以上、1年未満である 5. 欠席が1年以上続いている 6. わからない
--

あなたのことについておたずねします。

問19 初めて親となった年齢はいくつですか。(実子以外も含みます)
 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 10代	3. 24～26歳	5. 31～34歳	7. 40歳以上
2. 20～23歳	4. 27～30歳	6. 35～39歳	

問20 次の①～⑦について、おうちの方を含め（子どもは除く）、あなたを支えてくれて、手伝ってくれる人はいますか。（あてはまる番号1つに○をつけてください）

	いる	いない	わからない
① 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人	1	2	3
② あなたの気持ちを察して思いやってくれる人	1	2	3
③ 趣味や興味のあることを一緒に話して、気分転換させてくれる人	1	2	3
④ 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人	1	2	3
⑤ 子どもの学びや遊びをゆたかにする情報を教えてくれる人 (運動や文化活動)	1	2	3
⑥ 子どもの体調が悪いとき、医療機関に連れて行ってくれる人	1	2	3
⑦ 留守を頼める人	1	2	3

問21 あなたが本当に困ったときや悩みがあるとき、相談相手や相談先はどこですか。（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 配偶者・パートナー	10. 公的機関や役所の相談員
2. 自分の親	11. 学童保育の指導員(※)
3. 配偶者・パートナーの親	12. 地域の民生委員・児童委員
4. きょうだい・その他の親戚	13. 民間の支援団体
5. 近隣に住む知人や友人	14. 民間のカウンセラー・電話相談
6. 近隣に住んでいない知人や友人	15. 医療機関の医師や看護師
7. 職場関係者	16. インターネットのサイトへの書き込み
8. 学校の先生やスクールカウンセラー	17. その他
9. 子育て講座（小・中学生を持つ保護者を対象）等を担当するリーダーや職員等	18. 相談できる相手がいない

※「学童保育」とは、「放課後子どもクラブ」、「放課後児童室」、「放課後児童クラブ」も含まれます。

とい 間22 あなたの^{こころ}心の^{じょうたい}状態についておたずねします。

(あてはまる^{ばんごう}番号^{ひと}1つに^{まる}○をつけてください)

(1) 生活^{せいかつ}を楽しんで^{たの}いますか(仕事^{しごと}や家事^{かじ}、育児^{いくじ}など)。

1. とても ^{たの} 楽しんでいる	3. あまり ^{たの} 楽しんでいない	5. わからない
2. ^{たの} 楽しんでいる	4. ^{たの} 楽しんでいない	

(2) 将来^{しょうらい}に対して^{たい}希望^{きぼう}を持^もっていますか。

1. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てる	3. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てない
2. 希望 ^{きぼう} が持 ^も てる ^も ときもあれば、持 ^も てない ^も ときもある	4. わからない

(3) ストレス^{すとれす}を^{はっさん}発散^{はつさん}できるものがありますか。

1. ある	3. ない
2. ある ^も ときもあれば、ない ^も ときもある	4. わからない

(4) あなたは、ご自分^{じぶん}が^{しあわ}幸^{おも}せだと思^{おも}いますか。

1. とても ^{しあわ} 幸 ^{おも} せだと思 ^{おも} う	4. ^{しあわ} 幸 ^{おも} せだと思 ^{おも} わない
2. ^{しあわ} 幸 ^{おも} せだと思 ^{おも} う	5. わからない
3. あまり ^{しあわ} 幸 ^{おも} せだと思 ^{おも} わない	

とい 間23 あなたは、自分^{じぶん}の^{からだ}体^きや^{きもち}気持ちで^き気になることはありますか。

(あてはまる^{ばんごう}番号^{まる}すべてに○をつけてください)

1. ねむれない	10. まわりが ^き 気になる
2. よく ^{あたま} 頭 ^{あたま} がいたくなる	11. やる ^き 気が ^お 起きない
3. ^は 歯 ^は がいたい	12. ^{いら} イライラ ^{いら} する
4. ^{ふあん} 不安 ^{きもち} な ^{きもち} 気持ち ^{きもち} になる	13. よく ^{かた} 肩 ^{かた} が ^こ る
5. もの ^み を見 ^み づらい	14. よく ^{こし} 腰 ^{こし} がいたくなる
6. ^き 聞こえ ^{きこ} にくい	15. とくに ^き 気になる ^{きこ} ところ ^{ところ} はない
7. よく ^{おなか} おなかが ^{いた} くなる	16. その他 ^た
8. よく ^{かぜ} かぜを ^ひ ひく	17. わからない
9. よく ^{かゆ} かゆ ^{かゆ} くなる	

問24 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. よくある	4. ない
2. 時々ある	5. わからない
3. ほとんどない	

問25 あなたは、定期的に健康診断を受けていますか。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

問26 次の①～⑤について、おたずねします。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

	そう 思う	まあそ う思う	あまり 思わな い	おも 思わな い	わか らな い
① 自分が立てた目標や計画はうまくできる自信がある	1	2	3	4	5
② はじめはうまくいかない事でも、できるまでやり続ける	1	2	3	4	5
③ 人の集まりの中では、うまくふるまえない	1	2	3	4	5
④ 私は自分から友だちを作るのがうまい	1	2	3	4	5
⑤ 人生で起きる問題の多くは自分で解決できない	1	2	3	4	5

世帯の経済状況についておたずねします。

問27 あなたの家庭の経済状況についておたずねします。

(1) あなたの世帯で収入のある方の人数を教えてください。

(あてはまる番号1つに○をつけてください)

1. 1人	3. 3人	5. 5人以上
2. 2人	4. 4人	

(2) あなたの世帯で主に生計を支えている方はどなたですか。

(お子さんからみた続柄で、あてはまる番号1つに○をつけてください。)

1. お母さん	4. 兄・姉
2. お父さん	5. おじ・おばなど親戚
3. おじいさん、おばあさん	6. その他の人

(3) あなたの世帯では以下の手当や援助等を受けていますか。

(①～⑫の項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

	う 受けている	う 受けたこと がある	う 受けたこと はない
① 児童手当	1	2	3
② 就学援助費※1	1	2	3
③ 児童扶養手当※2	1	2	3
④ 障がいや難病の手当※3	1	2	3
⑤ 生活保護	1	2	3
⑥ 公的年金(老齢年金)	1	2	3
⑦ 公的年金(遺族年金、障がい年金)	1	2	3
⑧ 雇用保険(失業保険)	1	2	3
⑨ 養育費	1	2	3
⑩ 親・親族からの仕送り	1	2	3
⑪ 退職金	1	2	3
⑫ その他、株式配当などの副収入	1	2	3

※1 「就学援助費」とは、経済的な理由により、就学が困難と認められる児童生徒に対して、学用品費などを援助する制度です。

※2 「児童扶養手当」とは、父又は母と生計を同じくしていない18歳到達後最初の年度末までの児童(児童に政令で定める程度の障がいがある場合は20歳未満の児童)を監護しているひとり親家庭の母又は父等に支給される手当です。15歳までを対象とした「児童手当」とは異なります。

※3 障がいや難病を対象とした手当には、特別児童扶養手当、障がい児福祉手当、重度障がい者介護手当などがあります。

(4) 前年(2015年)のあなたの世帯の収入の合計額は、およそいくらでしたか。 (あてはまる番号1つに○をつけてください)

※収入には、働いて得た給料だけでなく、株式配当や副収入を含めて合計してください。税金や社会保険料を払ったあとの額でお答えください。

※また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額でお答えください。

1. 50万円未満	12. 550～600万円未満	23. 1,200～1,300万円未満
2. 50～100万円未満	13. 600～650万円未満	24. 1,300～1,400万円未満
3. 100～150万円未満	14. 650～700万円未満	25. 1,400～1,500万円未満
4. 150～200万円未満	15. 700～750万円未満	26. 1,500～1,750万円未満
5. 200～250万円未満	16. 750～800万円未満	27. 1,750～2,000万円未満
6. 250～300万円未満	17. 800～850万円未満	28. 2,000～2,250万円未満
7. 300～350万円未満	18. 850～900万円未満	29. 2,250～2,500万円未満
8. 350～400万円未満	19. 900～950万円未満	30. 2,500～2,750万円未満
9. 400～450万円未満	20. 950～1,000万円未満	31. 2,750～3,000万円未満
10. 450～500万円未満	21. 1,000～1,100万円未満	32. 3,000万円以上
11. 500～550万円未満	22. 1,100～1,200万円未満	33. わからない

問28 毎日の生活で感じていることを自由に書いてください。

質問は以上です。調査にご協力いただきありがとうございました。